

新生・世界分散ファンド(複利効果重視型) / (分配重視型)

追加型投信 / 内外 / 資産複合

月次レポート 1/7
2011年12月30日現在

<ファンドの特色>

- 「新生・世界分散ファンド(複利効果重視型)」と「新生・世界分散ファンド(分配重視型)」(以下、総称して「当ファンド」といいます。またそれぞれを単に「複利効果重視型」、「分配重視型」という場合があります。)は世界債券マザーファンド受益証券と世界株式マザーファンド受益証券(以下総称して「マザーファンド受益証券」といいます。)への投資を通じて、主として世界の先進国の債券と株式等に分散投資を行います。債券は国債への投資を基本とします。
- 各マザーファンド受益証券の組入比率は1:1程度を基本とします。
- 当ファンドは「シティグループ世界国債インデックス(円換算ベース)」と「MSCIワールド・インデックス(円換算ベース)」を50%ずつ組合わせた合成インデックスをベンチマークとして、これを上回るパフォーマンスをめざしてアクティブ運用を行います。
- 実質組入外貨建て資産について、為替ヘッジは原則として行いません。
- マザーファンドにおける債券と株式等の運用指図に関する権限を、スイス・アンド・グローバル・アセットマネジメント・エルティディ(以下、「スイス・アンド・グローバル・アセットマネジメント社」といいます。)に委託します。

【基準価額・純資産総額】

■複利効果重視型

	2011/12/30	2011/11/30	前月比
基準価額	6,318円	6,206円	112円
純資産総額	9.6億円	9.5億円	0.1億円

■分配重視型

	2011/12/30	2011/11/30	前月比
基準価額	6,010円	5,926円	84円
純資産総額	2.7億円	2.8億円	-0.1億円

* 基準価額は1万口当たりとなっています。

【ファンドの騰落率(課税前、分配金再投資)】

■複利効果重視型

ファンド	1か月	3か月	6か月	1年	3年	設定来
ファンド	1.80%	3.76%	-7.63%	-6.01%	-0.64%	-36.82%
ベンチマーク	1.66%	3.30%	-7.14%	-3.64%	8.78%	-28.63%

■分配重視型

ファンド	1か月	3か月	6か月	1年	3年	設定来
ファンド	1.74%	3.63%	-7.74%	-6.09%	-1.08%	-36.98%
ベンチマーク	1.66%	3.30%	-7.14%	-3.64%	8.78%	-28.63%

* 騰落率を算出する基準価額は、信託報酬控除後、課税前分配金再投資基準価額です。上記騰落率は、実際の投資家利回りとは異なります。

* 「課税前分配金再投資基準価額」とは、基準価額に各収益分配金(課税前)を、その分配が行われる日に全額再投資したと仮定して算出したものであり、当社が公表している基準価額とは異なります。

* 騰落率は各月末営業日で計算しています。(各月末が休業日の場合は前営業日の値で計算しています。)

【分配金実績(1万口当たり、課税前)】

■複利効果重視型

第1期 (08/12/22)	第2期 (09/12/21)	第3期 (10/12/20)	第4期 (11/12/20)	第5期	合計
0円	0円	0円	0円	—	0円

■分配重視型

第1期 (08/03/21)	第2期 (08/06/20)	第3期 (08/09/22)	第4期 (08/12/22)	第5期 (09/03/23)	第6期 (09/06/22)
6円	66円	16円	20円	12円	61円
第7期 (09/09/24)	第8期 (09/12/21)	第9期 (10/03/23)	第10期 (10/06/21)	第11期 (10/09/21)	第12期 (10/12/20)
42円	7円	1円	26円	8円	9円
第13期 (11/03/22)	第14期 (11/06/20)	第15期 (11/09/20)	第16期 (11/12/20)	第17期	合計
7円	26円	8円	19円	—	334円

* 分配金は過去の実績であり、将来の分配金の水準を示唆、保証するものではありません。

* 分配金は一定の分配金額をお約束するのではなく、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

【運用資産構成比率】

■複利効果重視型

世界株式マザーファンド	49.3%
世界債券マザーファンド	49.0%
コール・ローン等、その他	1.7%
合計	100.0%

■分配重視型

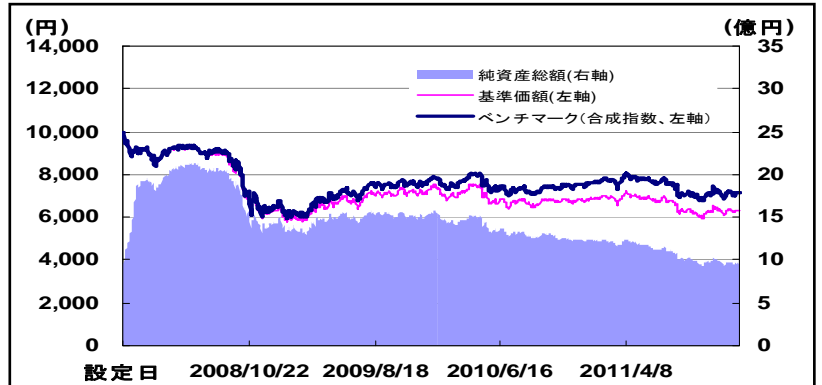
世界株式マザーファンド	48.7%
世界債券マザーファンド	48.6%
コール・ローン等、その他	2.8%
合計	100.0%

* 運用資産構成比率は純資産総額に対する評価額の割合で、小数点以下第2位を四捨五入して表示しています。

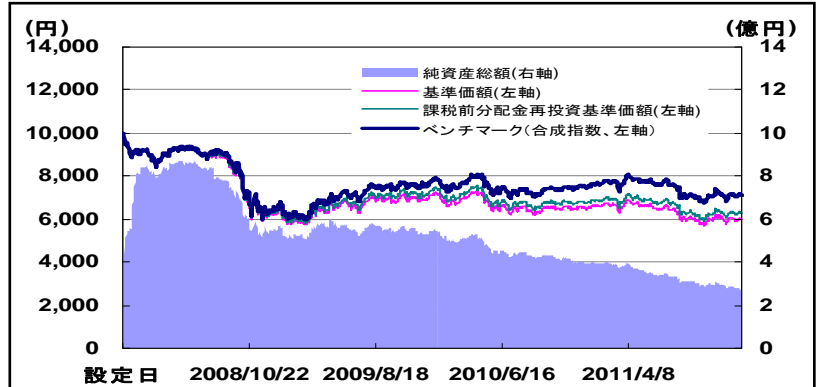
* 四捨五入の関係上合計が100%にならない場合もあります。

【基準価額・純資産総額の推移】

■複利効果重視型



■分配重視型



* 基準価額は、信託報酬控除後、信託財産留保額控除前、課税前です。

* 当ファンドの信託報酬率は、純資産総額に対して年率1.6485%(税込み)です。

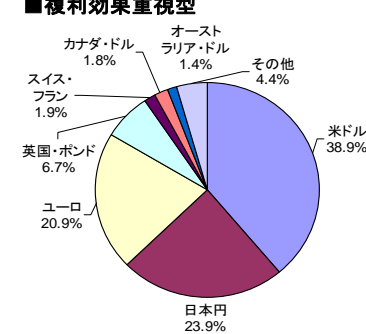
* 「課税前分配金再投資基準価額」とは、基準価額に各収益分配金(課税前)を、その分配が行われる日に全額再投資したと仮定して算出したものです。

* ベンチマークは「シティグループ世界国債インデックス(円換算ベース)」と「MSCIワールド・インデックス(円換算ベース)」を50%ずつ組み合わせた合成インデックスで、設定日を10,000として指数化しております。

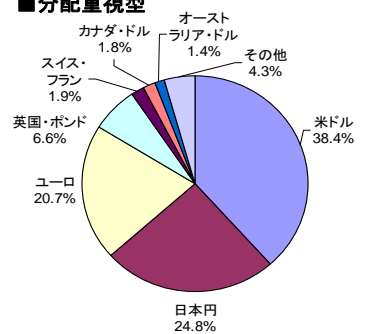
* 上記グラフは過去の実績であり、将来の運用成果をお約束するものではありません。

【通貨別構成比率】

■複利効果重視型



■分配重視型



* 通貨別構成比率は純資産総額に対する評価額の割合で、小数点以下第2位を四捨五入して表示しています。

* 四捨五入の関係上合計が100%にならない場合もあります。

当資料は、新生インベストメント・マネジメント株式会社が作成した販売用資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載内容、数値、図表等については、当資料作成時のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。なお、当資料のいかなる内容も将来の投資収益を示唆・保証するものではありません。ファンドは、流動性のある資産(また、外貨建て資産の場合、この他に為替変動リスクもあります。)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて投資信託をご購入される受益者のみなさまに帰属します。取得のお申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご理解の上、ご自身でご判断ください。投資信託は預金や保険契約とは異なり、預金保険機構または保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また元本や利回りの保証はありません。販売会社が登録金融機関の場合は、証券会社と異なり、投資者保護基金の補償の対象ではありません。投資信託のお申込み時には購入時手数料、ならびに運用期間中は運用管理費用(信託報酬)等がかかります。

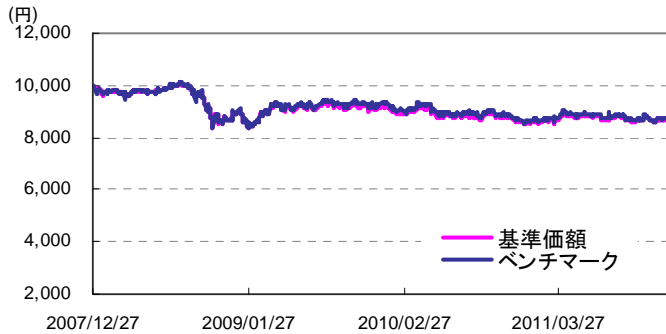
新生・世界分散ファンド (複利効果重視型) / (分配重視型)

追加型投信 / 内外 / 資産複合

月次レポート 2/7
2011年12月30日現在

【世界債券マザーファンドの運用状況】

【基準価額の推移】



* ベンチマークは「シティグループ世界国債インデックス(ドルベース)」をもとに委託会社が独自に算出した指数で、設定日を10,000として指数化しております。

【マザーファンドの騰落率】

	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
ファンド	0.49%	0.42%	-1.28%	2.33%	-3.56%	-13.11%
ベンチマーク	0.33%	0.15%	-1.91%	2.29%	-3.90%	-12.96%

【ポートフォリオ概要】

	当ファンド	ベンチマーク
平均最終利回り(%)	1.31	1.68
平均クーポン(%)	3.27	2.77
平均残存期間(年)	7.85	8.30
平均デュレーション	6.07	6.76

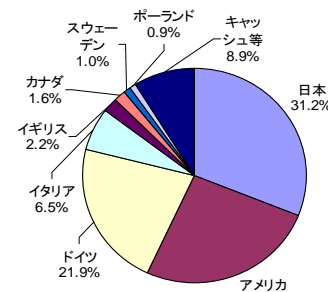
* 当ファンドの平均最終利回り等の計算は委託会社の見解に基づいて行っています。

【組入上位10銘柄】

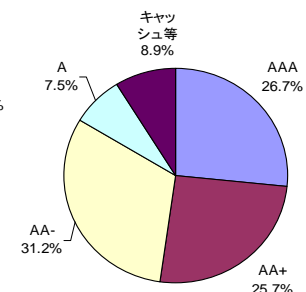
		組入銘柄数			15
	銘柄名	国名	クーポン	償還日	組入比率
1	ドイツ国債	ドイツ	4.250	2017/7/4	12.7%
2	日本国債	日本	1.600	2013/9/20	11.0%
3	日本国債	日本	1.700	2017/9/20	9.8%
4	ドイツ国債	ドイツ	4.000	2037/1/4	9.2%
5	米国国債	アメリカ	4.500	2015/11/15	8.6%
6	日本国債	日本	1.400	2015/9/20	7.8%
7	米国国債	アメリカ	2.375	2014/8/31	6.8%
8	イタリア国債	イタリア	4.250	2014/8/1	6.5%
9	米国国債	アメリカ	4.750	2037/2/15	6.1%
10	米国国債	アメリカ	2.750	2019/2/15	4.2%

※組入比率はマザーファンドの純資産総額に対する比率です。

【国別構成比率】



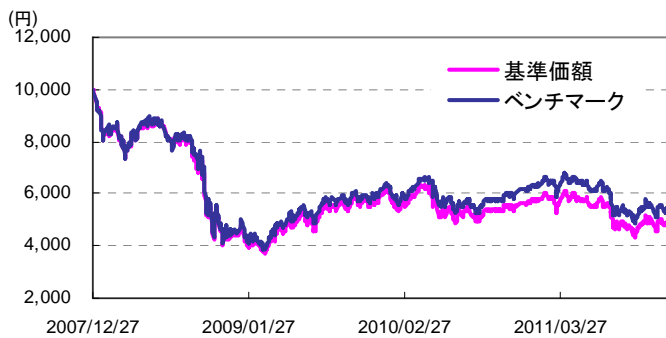
【格付別構成比率】



*比率は四捨五入の関係上必ずしも100%にならない場合があります。

【世界株式マザーファンドの運用状況】

【基準価額の推移】



* ベンチマークは「MSCIワールド・インデックス(ドルベース)」をもとに委託会社が独自に算出した指数で、設定日を10,000として指数化しております。

【マザーファンドの騰落率】

	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
ファンド	3.52%	8.00%	-12.73%	-11.15%	11.55%	-50.57%
ベンチマーク	2.93%	6.19%	-12.85%	-10.20%	19.18%	-45.31%

【平均配当利回り(注)】

2.86%

* (注) 平均配当利回りは、各銘柄の配当利回り(税引前)をそれぞれの時価で加重平均したものです。

当資料で使用する指数について

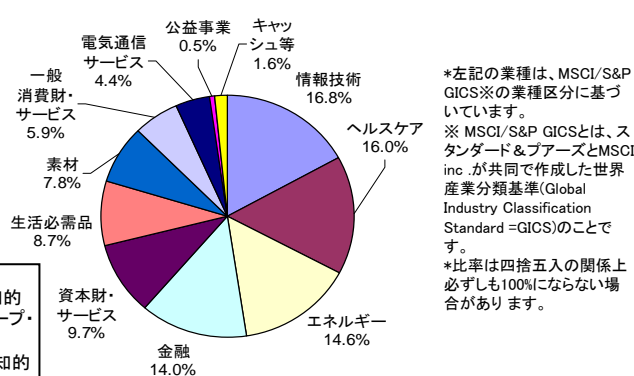
- 「シティグループ世界国債インデックス」は、シティグループ・グローバル・マーケット・インクの知的財産であり、指数の算出、指数の公表、利用など同指数に関するすべての権利はシティグループ・グローバル・マーケット・インクが有しています。
- 「MSCIワールド・インデックス」は、MSCI Inc.が開発した株価指数で、同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属し、同社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

【組入上位10銘柄】

		組入銘柄数		116
	銘柄名	業種	組入比率	
1	アップル	情報技術	2.5%	
2	シェブロン	エネルギー	2.2%	
3	IBM	情報技術	2.1%	
4	マイクロソフト	情報技術	2.0%	
5	エクソンモービル	エネルギー	1.9%	
6	コノコ・フィリップス	エネルギー	1.6%	
7	ファイザー	ヘルスケア	1.6%	
8	プリティッシュ・アメリカン・タバコ	生活必需品	1.6%	
9	アストラゼネカ	ヘルスケア	1.6%	
10	ジョンソン・エンド・ジョンソン	ヘルスケア	1.5%	

※組入比率はマザーファンドの純資産総額に対する比率です。

【セクター別構成比率】



*左記の業種は、MSCI/S&P GICS※の業種区分に基づいています。
※ MSCI/S&P GICSとは、スタンダード&プアーズとMSCI Inc. が共同で作成した世界産業分類基準(Global Industry Classification Standard =GICS)のことです。
*比率は四捨五入の関係上必ずしも100%にならない場合があります。

当資料は、新生インベストメント・マネジメント株式会社で作成した販売用資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載内容、数値、図表等については、当資料作成時のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。なお、当資料のいかなる内容も将来の投資収益を示唆・保証するものではありません。ファンドは、価値のある資産(また、外貨建て資産の場合、この他に為替変動リスクもあります。)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて投資信託をご購入される受益者のみなさまに帰属します。取得のお申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目録見書)をお渡ししますので必ず内容をご理解の上、ご自身でご判断ください。投資信託は預金や保険契約とは異なり、預金保険機構または保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また元本や利回りの保証はありません。販売会社が登録金融機関の場合は、証券会社と異なり、投資者保護基金の補償の対象ではありません。投資信託のお申込み時には購入時手数料、ならびに運用期間中は運用管理費用(信託報酬)等がかかります。

新生・世界分散ファンド (複利効果重視型) / (分配重視型)

追加型投信 / 内外 / 資産複合

月次レポート 3/7
2011年12月30日現在

以下のコメントは、「新生・世界分散ファンド(複利効果重視型) / (分配重視型)」のマザーファンドである「世界債券マザーファンド」および「世界株式マザーファンド」の運用指図を行っているスイス・アンド・グローバル・アセットマネジメント社のコメントをもとにして作成したものです。また、下記の見通しは当資料作成時点のものであり、事前の連絡なしに変更される場合がありますのでご注意ください。

【世界債券マザーファンド】市場概況と今後の見通し

2011年12月のシティグループ世界国債インデックス(円換算ベース)は、0.33%上昇しました。為替市場では、円が米ドルに対して2011年11月末の1米ドル=78.13円から2011年12月末は1米ドル=77.74円となり、39銭の円高・米ドル安となりました。ユーロについては、2011年11月末の1ユーロ=104.16円から2011年12月末は1ユーロ=100.71円となり、3円45銭の円高・ユーロ安となりました。

2011年12月、欧州中央銀行(ECB、以下「ECB」といいます)が期間3年の長期流動性供給オペ(LTRO)を決定、実施したとなど欧州債務問題の動向により債券にとっては価格変動の大きな月となりました。米国において当月発表された経済指標は緩やかな回復を示しました。格付けの低い欧州のソブリン債が激しく変動する中、ドイツ、米国、英国、日本の国債の利回りは年の最低水準まで低下しました。為替相場の動きとしては、先進国通貨が新興国通貨に対して上昇し、一方でユーロが他の先進国通貨に対して弱含みました。

当月の世界債券マザーファンドは上昇し、ベンチマークのパフォーマンスを上回りました。国の選別、短期化していたデュレーションが奏功し、イタリア国債をいいタイミングで売却できたことなどもプラスに寄与しました。通貨のポジション、低い利回り水準はわずかながらマイナスに寄与しましたが、超過収益を相殺するには至りませんでした。為替においては、シンガポール・ドル、カナダ・ドル、オーストラリア・ドル、英国ポンド、スイス・フランなどの通貨の保有をベンチマークに対して平均するとアンダーウェイトとしていましたが、それらの通貨が弱含んだことから超過収益を得ました。逆に、ユーロ、スウェーデン・クロナ、ポーランド・ズロチ、メキシコ・ペソのオーバーウェイトはマイナスに働きました。

スイス・アンド・グローバル・アセットマネジメント社では、国債の信用力については個別に分析する必要があるとの見方を維持しています。一方で、信用力の高い債券に投資する戦略は引き続き機能しており、依然として欧州圏では流動性の高いドイツ国債に投資していく予定です。また、利回り水準が全体的に低い中、上昇余地が小さい長期債を避けて、利回り水準は低いもののイールドカーブが急勾配になっている5-7年物債券への投資を行います。先進国経済には明らかなインフレ圧力はなく、潜在成長率を下回るものの、プラス成長が続くと思われまます。

【世界株式マザーファンド】市場概況と今後の見通し

2011年12月のMSCIワールド・インデックス(円換算ベース)は2.93%上昇しました。

2011年12月、多くの投資家の焦点は欧州の債務問題に向かいました。一部の欧州の銀行は銀行間取引における資金調達に問題を抱えていたため、ECBは銀行に対して総額4,890億ユーロの資金を期間3年で貸し出しました。日本の投資家にとっては、米ドル/円が円高に、ユーロ/円が大幅に円高に動いたため、円換算ベースのMSCIワールド・インデックスの上昇は限定されました。素材、情報技術、エネルギーセクターのパフォーマンスが悪く、ディフェンシブなセクターである生活必需品、ヘルスケアセクターのみがプラスのリターンとなりました。

当月、世界株式マザーファンドのパフォーマンスはベンチマークを上回りました。相対的なパフォーマンスに対して銘柄選択はプラスに寄与しましたが、セクター配分はほとんど影響を与えませんでした。セクター配分においては、情報技術および素材セクターのオーバーウェイトおよび生活必需品セクターのアンダーウェイトに起因したマイナス分を、ヘルスケアセクターのオーバーウェイトと一般消費財・サービスセクターのアンダーウェイトによるプラス分が補う形となりました。銘柄選択においては、金融セクターのウェルズ・ファーゴ、情報技術セクターのアップルおよびグーグル、エネルギーセクターのエルパソが超過収益に貢献し、公益事業および素材セクターの銘柄がマイナスに寄与しました。

当月、特殊ガラスおよびセラミックの世界的なリーディングカンパニーであるコーニングを売却しました。一方で、世界的な石油エネルギー企業であるロイヤル・ダッチ・シェルをわずかながら買い増しました。

今後の見通しについては、欧州の債務問題の動向が金融市場に最も影響を及ぼす要因になるとみており、当面は値動きの荒い展開が続くと予想しています。スイス・アンド・グローバル・アセットマネジメント社では引き続き収益力が高く、絶対的にも相対的にもバリュエーションが割安な銘柄に投資を行う予定です。

新生・世界分散ファンド (複利効果重視型) / (分配重視型)

追加型投信 / 内外 / 資産複合

月次レポート 4/7
2011年12月30日現在

以下のコメントは、2012年1月13日のスタンダード&プアーズ(S&P、以下「S&P」といいます)による欧州諸国の格付けの引下げを受け、「新生・世界分散ファンド(複利効果重視型) / (分配重視型)」のマザーファンドである「世界債券マザーファンド」および「世界株式マザーファンド」の運用指図を行っているスイス・アンド・グローバル・アセットマネジメント社の2012年1月16日時点のコメントをもとにして作成したものです。また、下記の見通しは当資料作成時点のものであり、事前の連絡なしに変更される場合がありますのでご注意ください。

S&Pによる欧州諸国の格下げについて

[世界債券マザーファンド]

2012年1月13日、S&Pはキプロス、イタリア、ポルトガル、スペインの長期格付けを2ノッチ、オーストリア、フランス、マルタ、スロバキア、スロベニアの長期格付けを1ノッチ引下げました。

ベンチマークおける格下げされた欧州諸国の債券の2011年12月末時点のウェイトは約16.5%に相当します。当ファンドは2011年12月末時点でAAAを維持したドイツ国債に21.9%投資していますが、イタリア国債を除くと、格下げされた欧州諸国の債券は保有していません。また、イタリアについてはベンチマークに対して1%程度オーバーウェイトしていますが、格下げされた欧州諸国全体の組入比率でみると、ベンチマークより10%程度少なくなっています。

スイス・アンド・グローバル・アセットマネジメント社では、現在のポートフォリオのリスクリターン特性は現在の流れに適していると考えており、世界債券マザーファンドの投資方針を変更する予定はありません。信用力の高い債券に投資する戦略は2011年の間、超過収益の生成に貢献し、過去の実績から考えると今後も十分に機能すると考えています。

[世界株式マザーファンド]

2012年1月16日時点までのベンチマークと当ファンドのリターンをみると影響はほとんどないとみています。世界株式マザーファンドは1月16日時点で前月末より上昇しており、一方で欧州の銀行株の保有比率は昨年来非常に低く抑えています。2011年12月末時点で、株式マザーファンドは欧州の銀行ではスペインのサンタンデル銀行をファンドの0.38%程度しか保有しておらず、イタリア、フランス、アイルランド、ポルトガル、オーストリア、ドイツまたは他のスペインの銀行は保有していません。

今後の見通しとしては以下のことが挙げられます。

- 先進国のバランスシートの質が低下する
- 欧州の負債比率削減のためには、税の引上げよりも資産の売却や予算の削減が行われる
- 2012年の経済成長率見通しは下方修正される
- 先進国のインフレ圧力は限定的である
- 2012年のユーロ圏の政策動向を予想することは難しいが、引き続き重要な要因となる
- 株式のバリュエーションは長期の平均より低いが、様々なリスク要因により投資家のセンチメントは回復しない
- 2012年の株式投資戦略においてはキャピタルゲインよりインカムゲインが重要となる

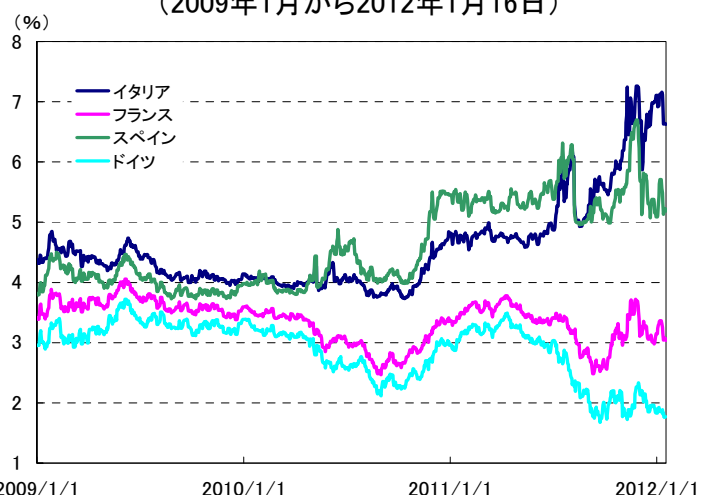
今回の格下げにより、株式マザーファンドの投資方針を変える予定はありません。格下げは以前から予想されていたことであり、それよりも前週より始まっている2011年第4四半期の決算および2012年の見通し予測のほうが本質的に重要であると考えています。

【ご参考】

円/ユーロの推移
(2009年1月から2012年1月16日)



欧州主要国の10年物国債の利回りの推移
(2009年1月から2012年1月16日)



出所:ブルームバーグのデータをもとに新生インベストメント・マネジメントにて作成

当資料は、新生インベストメント・マネジメント株式会社で作成した販売用資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載内容、数値、図表等については、当資料作成時のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。なお、当資料のいかなる内容も将来の投資収益を示唆・保証するものではありません。ファンドは、値動きのある資産(また、外貨建て資産の場合、この他に為替変動リスクもあります。)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて投資信託をご購入される受益者のみなさまに帰属します。取得のお申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目録見書)をお渡ししますので必ず内容をご理解の上、ご自身でご判断ください。投資信託は預金や保険契約とは異なり、預金保険機構または保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また元本や利回りの保証はありません。販売会社が登録金融機関の場合は、証券会社と異なり、投資者保護基金の補償の対象ではありません。投資信託のお申込み時には購入時手数料、ならびに運用期間中は運用管理費用(信託報酬)等がかかります。

新生・世界分散ファンド (複利効果重視型) / (分配重視型)

追加型投信 / 内外 / 資産複合

月次レポート 5/7
2011年12月30日現在

【投資リスク】投資信託説明書(交付目論見書)でご確認ください。

当ファンドの主なリスクは以下のとおりです。

* 以下に記載するリスクおよび留意点は当ファンドのリスクおよび留意点を完全に網羅しておりませんのでご注意ください。ファンドのリスクは以下に限定されるものではありません。

当ファンドは、組入れた有価証券等の値動きにより、基準価額が大きく変動することがあり、投資元本を割込むことがあります。

1. 価格変動リスク

① 株価変動リスク

当ファンドは、主としてマザーファンド受益証券を通じて株式に投資します。一般的に株式の価格は、発行企業の業績や国内外の政治・経済情勢、金融商品市場の需給等により変動します。また発行企業が経営不安となった場合などは大きく下落したり、倒産等に陥った場合などは無価値となる場合もあります。実質的に組入れた株式の価格の下落は基準価額が下がる要因となり、その結果投資元本を割込むことがあります。

② 金利変動リスク

当ファンドは、主としてマザーファンド受益証券を通じて公社債に投資します。公社債の価格は、一般的には金利が低下した場合は上昇し、金利が上昇した場合は下落します。また発行体が財政難や経営不安となった場合などは大きく下落したり、倒産等に陥った場合などは無価値となる場合もあります。実質的に組入れた公社債の価格の下落は基準価額が下がる要因となり、その結果投資元本を割込むことがあります。

2. 為替変動リスク

当ファンドは、実質的に外貨建て資産に投資しますので、投資した資産自体の価格変動のほか、当該資産の通貨の円に対する為替レートの変動の影響を受け、基準価額が大きく変動し、投資元本を割込むことがあります。為替レートは、各国の経済・金利動向、金融・資本政策、為替市場の動向など様々な要因で変動します。

3. カントリーリスク

当ファンドは、実質的に海外の資産に投資します。このため、投資対象国・地域の政治・経済、投資規制・通貨規制等の変化により、基準価額が大きく変動することがあり、投資元本を割込むことがあります。

4. 信用リスク

当ファンドは、実質的に組入れた有価証券等の発行者の経営・財務状況の変化およびそれらに対する外部評価の変化等により基準価額が影響を受け、投資元本を割込むことがあります。

5. その他

金融商品取引所等の取引停止、外国為替取引の停止その他やむを得ない事情がある場合等は受付を中止することや、あるいは既に受付けた注文を取消すことがありますのでご注意ください。

また投資信託に関する法令、税制、会計制度などの変更によって、投資信託の受益者が不利益を被るリスクがあります。

新生・世界分散ファンド(複利効果重視型) / (分配重視型)

追加型投信 / 内外 / 資産複合

 月次レポート 6/7
 2011年12月30日現在

【お申込みメモ】投資信託説明書(交付目論見書)でご確認ください。

ファンド名	新生・世界分散ファンド(複利効果重視型) / (分配重視型)
商品分類	追加型投信/内外/資産複合
当初設定日	2007年12月27日(木)
信託期間	無期限とします。
決算日	新生・世界分散ファンド(複利効果重視型) : 毎年12月20日 新生・世界分散ファンド(分配重視型) : 毎年3/6/9/12月の20日 * 当該日が休業日の場合は翌営業日
購入・換金	販売会社の営業日であっても、下記に該当する場合は、購入および換金のお申込みはできません。
申込不可日	●チューリッヒの銀行休業日
申込締切時間	午後3時までに、販売会社が受付けた分を当日のお申込み分とします。
購入・換金単位	販売会社が定める単位とします。
収益分配	決算時に、原則として収益の分配を行います。 ※分配金を受け取る「一般コース」と自動的に再投資される「自動けいぞく投資コース」があります。なお、どちらか一方のコースのみのお取扱いとなる場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額とします。
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額(当該基準価額に、0.1%の率を乗じて得た額)を控除した価額とします。
換金代金	原則として換金申込受付日から起算して、5営業日目からお申込みの販売会社でお支払いします。
課税関係 (個人の場合)	課税上は株式投資信託として取扱われます。収益分配時の普通分配金、換金時および償還時の譲渡益に対して課税されます。

お客さまには以下の費用をご負担いただきます。

【直接的にご負担いただく費用】

購入時手数料	購入価額に3.15%(税抜3.0%)を上限として、販売会社が独自に定める率を乗じて得た額とします。
信託財産留保額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額に0.1%の率を乗じて得た額をご換金時にご負担いただきます。

【信託財産で間接的にご負担いただく費用】

運用管理費用 (信託報酬)	純資産総額に対して年率1.6485%(税抜1.57%)
その他費用・手数料	組入有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料、財務諸表監査に関する費用等の諸費用、信託事務の処理に要する諸費用、外貨建て資産の保有費用等が当ファンドから支払われます。 ※「その他費用・手数料」は、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を表示することができません。

なお、お客さまにご負担いただく費用等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

新生・世界分散ファンド (複利効果重視型) / (分配重視型)

追加型投信 / 内外 / 資産複合

月次レポート 7/7
2011年12月30日現在

【委託会社、その他関係法人】

委託会社 新生インベストメント・マネジメント株式会社(設定・運用等)
03-6880-6448(受付時間:営業日の9時~17時)
ホームページアドレス: <http://www.shinsei-investment.com/>
登録番号 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第340号
加入協会 社団法人投資信託協会
社団法人日本証券投資顧問業協会(協会会員番号 第011-01067号)

受託会社 中央三井アセット信託銀行株式会社(信託財産の管理等)
販売会社 下記参照(募集・換金の取扱い・目論見書の交付等)
投資顧問会社 スイス・アンド・グローバル・アセットマネジメント・エルティディ
(マザーファンド) (世界債券マザーファンドおよび世界株式マザーファンドにおける世界債券と株式等の運用の指図に係る権限を委託)

(2012年1月17日現在)

金融商品取引業者名(五十音順)		登録番号	日本証券業協会	(社)日本証券投資顧問業協会	(社)金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○		○	
株式会社新生銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第10号	○		○	
トレイダーズ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第123号	○		○	
フィデリティ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第152号	○			
楽天銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第609号	○		○	
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○		○	